



ORCA PROJECT

紹介状作成プログラム FOR 地域医療連携

MI_CAN ORCA API 接続設定手順書

令和1年6月25日

日本医師会 ORCA 管理機構

目次

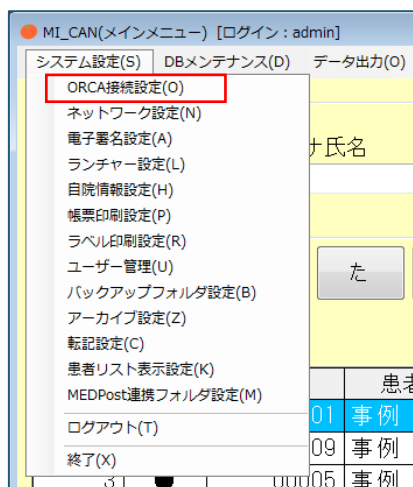
ORCA API 接続手順	2
接続設定方法	2
SSL クライアント認証を使用する際の注意	4

ORCA API 接続手順

MI_ACN Ver2.1.1.0以降では、日医標準レセプトソフト(日レセ)からのデータ取得に、今までのDBに直接接続して取得する方法の他に、ORCA API を使用してのデータ取得に対応しました。これにより、日医標準レセプトソフト クラウド版から直接データの取得が可能になりました。

接続設定方法

ORCA API での接続設定は、〔MI_CAN (メインメニュー)〕画面のシステム設定から「ORCA 接続設定」を選択して表示される画面で設定します。



「ORCA 接続設定」を選択すると、〔ORCA 接続設定〕画面が表示されます。

「ORCA 連携をおこなう」にチェックを付加した後、「API を使用して接続」をクリックします。

設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
サーバ URL	接続先 ORCA サーバの URL を指定します。 (クラウド：API 接続先 URL オンプレミス：http://サーバーIP アドレス)
ポート番号	ORCA サーバに接続するためのポート番号を指定します。 (クラウド：8080 オンプレミス：8000)
ユーザ名	ログイン用のユーザ名を指定します。 (クラウド：ORCAMO ID(uで始まる9桁のID) オンプレミス：日レセログインユーザー)
API キー	API キーを指定します。 (クラウド：apikey.txt の内容 オンプレミス：日レセログインユーザーのパスワード)
SSL クライアント認証を使用	SSL クライアント認証を使用するかどうかを選択します。 ※事前にルート CA 証明書(ca.crt)を端末に登録する必要があります(次ページ参照)
証明書ファイル (PKCS#12 形式)	SSL クライアント認証をおこなう際のクライアント証明書ファイル (PKCS#12 形式) を指定します。 (apixxx.p12)
パスフレーズ	秘密鍵のパスフレーズを指定します。

設定完了後、「接続テスト」をクリックする事で正しい設定で接続出来るかどうかのテストをおこないます。

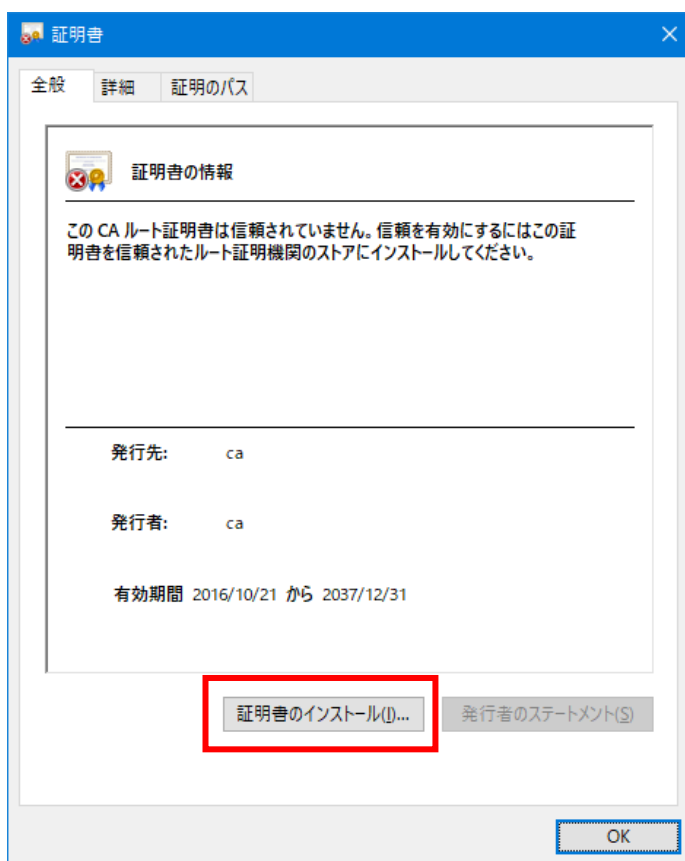
※DataMonitor に関しても ORCA API 接続時に同様の設定が必要になります。

SSL クライアント認証を使用する際の注意

SSL クライアント認証を使用するには、ルート証明書が端末にインストールする必要があります。

インストール方法は以下の通りです(インストールは管理者権限をもつユーザでおこなってください)。

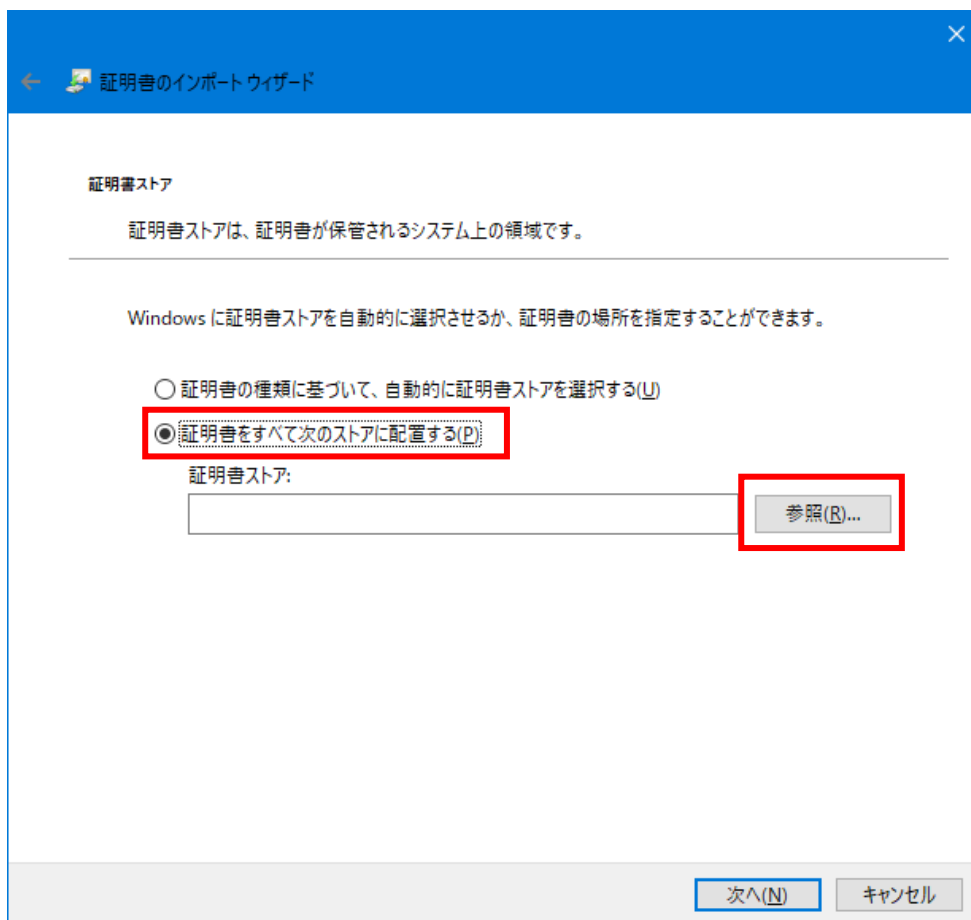
1. 配布されたルート CA 証明書(ca.crt)をダブルクリックします。
2. 証明書ダイアログが開きますので、[証明書のインストール(I)]を選択してルート証明書のインストールを実施してください。



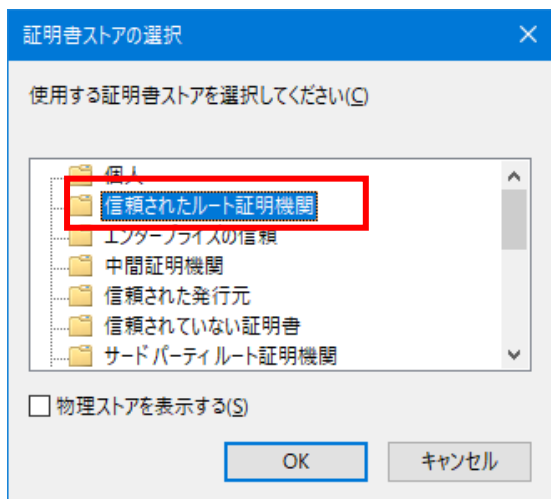
3. 証明書インポートウィザードが開きますので、保存場所を[ローカルコンピュータ(L)]を選択し、[次へ(N)]を選択して証明書のインストールを実施してください。



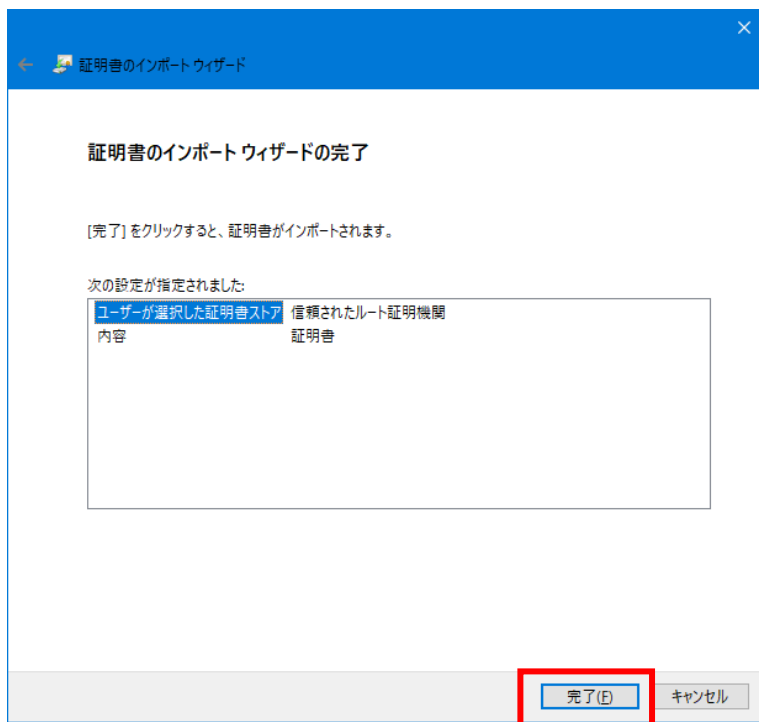
4. [証明書をすべて次のストアに配置する(P)]にチェックし、次に[参照(R)]を選択してください。



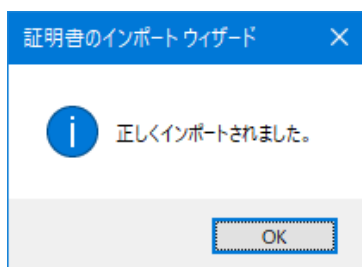
5. 証明書ストアの選択画面で、[信頼されたルート証明機関]を選択し[OK]を選択します。手順4の画面に戻り、証明書ストア欄に[信頼されたルート証明機関]が表示されたことを確認し、[次へ(N)]を選択します。



6. 証明書のインポートの完了画面が表示されるので[完了]を選択し、インポートウィザードを終了してください。



7. [OK]を選択して、以下の画面を閉じてください。



※本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本文中および図中では、TM、Rなどのマークを記載していない場合があります。

日本医師会ORCA管理機構

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-1-21 コロナ社第3ビル 6F